

Title	生産拠点の海外進出における成功要因 - アジア地域を中心にして -
Sub Title	
Author	宮崎, 幸司(Miyazaki, Kouji) 坂爪, 裕
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2088号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2088

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	坂爪 ゼミ	学籍番号	80430913	氏名	宮崎 幸司
(論文題名)					
生産拠点の海外進出における成功要因 - アジア地域を中心にして -					
(内容の要旨)					
<p>私はマレーシア IT 企業の日本人スタッフとしてマレーシア・中国において勤務をしてきた。現地では多くの日本企業と付き合いしてきた。その多くの企業は、進出先のインフラ整備の状況、従業員とのコミュニケーションの容易性、進出先の文化・政治・経済状況、進出先政府との折衝容易性、雇用条件、部品の現地調達の可能性など様々な要因を考慮していることがわかった。</p> <p>海外進出をしている企業には成功している企業と失敗し撤退している企業とが存在していた。成功している企業はどのような要因で成功し続けられるのかを明らかにすることを目的とした。また、研究目的に対し素朴な着想として、海外進出におけるメリット・デメリットの情報を進出前に多く蓄積し、かつ実際に進出を通じて多様なメリットを享受している企業ほど海外進出を成功させているのではないかと考えた。</p> <p>新聞・雑誌・学術論文で一般的に言われている企業の海外進出におけるメリット・デメリットについて因果関係図を用いて整理した。その結果、メリットは主にコスト削減であり、デメリットは現地対応の問題であることが明らかになった。その結果、成功し続けていると言われている企業には一般的なメリット・デメリット以外に特筆すべき要因が存在しているのではないかと考え、電機メーカーF社をとりあげ、事例調査を進めた。その結果、明らかになったことは、F社の海外進出におけるメリットは一般的な海外進出のメリットは少なく、その一方でデメリットは多いことが判明した。これにより、当初挙げた素朴な着想である、海外進出における経営上のメリット・デメリットの情報を進出前に多く蓄積し、かつ実際に進出を通じて多様なメリットを享受できる企業ほど海外進出を成功しているという点は棄却された。では、海外進出の成功要因はどこに存在しているのか、再度調査を進めた。</p> <p>その結果、進出後の工場運営に成功要因が存在していることが判明した。それは、進出時のメリットをどのように促進し、一方でデメリットをどのように抑制することかであった。それら成功要因は、他社が模倣できるものと出来ないものがあり、事例企業の特筆する要因として以下のようにまとめた。</p>					
<ol style="list-style-type: none"> ① 部品メーカーの教育と指導 ② ローカル幹部の育成 ③ 部品の共通化 ④ 委託生産 ⑤ 継続的な改善 					
<p>本研究は、アジア地域における生産拠点の成功要因を調査することに限定をし、かつ一社における事例調査を通じて進めてきたため、一般化することは困難であるが、今後進出をしようとする企業にとって海外進出の成功要因として示唆することは可能であると考えます。</p>					